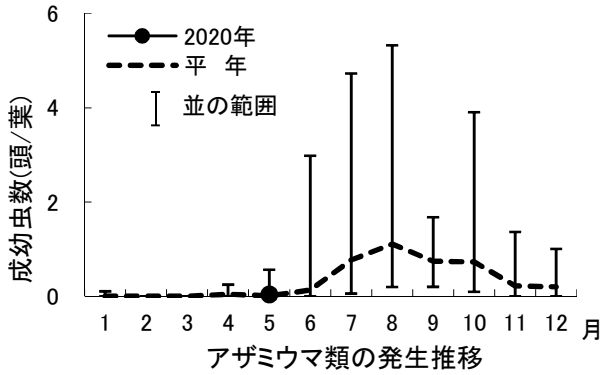
令和　2 年度　　6 月予報

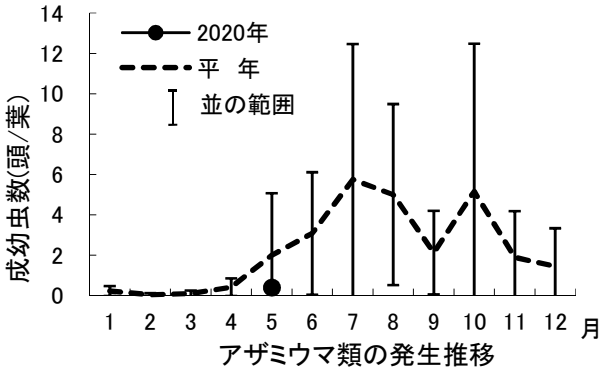
作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↗） トラップ誘殺虫数が平年並	

調査結果

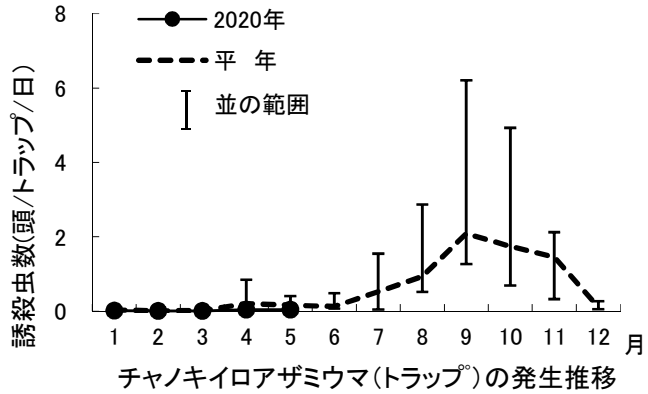
（見取り調査）　〈中央値〉



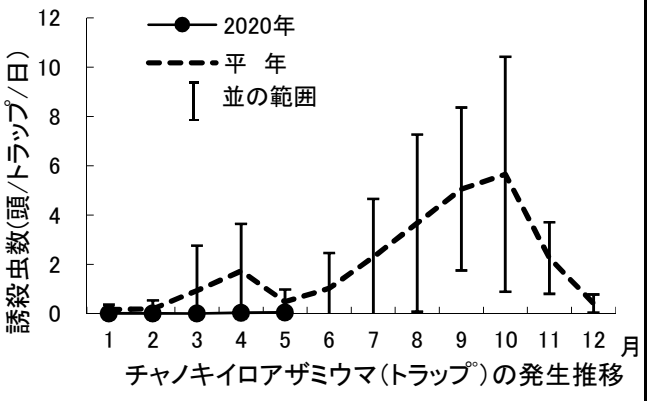
〈平均値〉



（トラップ調査）　〈中央値〉



〈平均値〉



防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・多発施設では、収穫終了後に薬剤による防除を行う。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

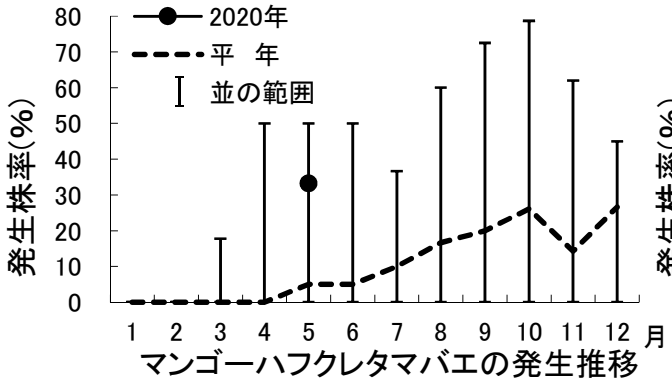
ナガエコミカンソウ

令和　2 年度　　6 月予報

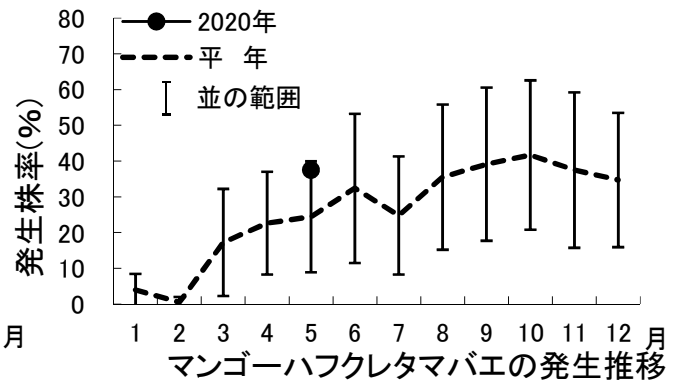
作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

〈中央値〉



〈平均値〉



- 被害新梢率：8.2%　（平年15.6%）
- 発生施設率：62.5%　（平年50%）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

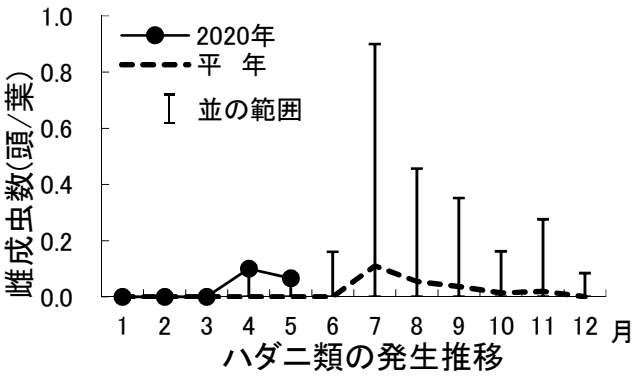
・翌年の着果枝となる新梢が加害されると減収につながるため、多発施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。せん定枝は施設外に持ち出し処分する。

令和　2 年度　　6 月予報

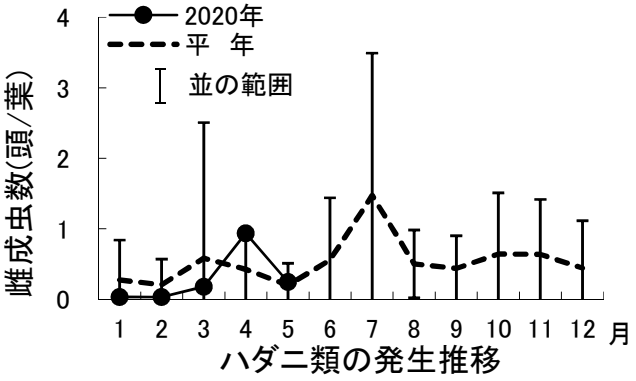
作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		シュレイツメハダニ	
予報	6 月の発生量（平年比）	並		
	5 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）		

調査結果

〈中央値〉



〈平均値〉



- 発生種：シュレイツメハダニ
- 発生施設率：62.5%（平年37.1%）
- 新梢での寄生雌成虫数：0.1頭/葉（発生種：シュレイツメハダニ）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症